

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシー I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大津 美奈子

授業の概要

- ①インターネット活用、セキュリティ技術を基礎にコンピュータリテラシーを理解する。
 ②国内固有の法規(著作権・インターネット関連法等)を理解する。

授業終了時の到達目標

- ①PCを使用しての授業に向けて基礎的な用語の意味を把握している。
 ②iBut(インターネットユーザテスト)合格レベル程度の情報リテラシーを身に付けている。

実務経験有無

実務経験内容

無

- ・業務を通してコンピュータリテラシーの知識と技能を蓄積
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催「ITパスポート試験」合格

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習
- ・課題の実施

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明 ハードウェアとソフトウェア①	1 コンピュータの種類 ・コンピュータとは ・コンピュータの形状による分類 ・コンピュータの役割による分類
2	ハードウェアとソフトウェア②	2 コンピュータの基本構成 ・ハードウェアとソフトウェアとは ・ハードウェアの具体例 ・装置間の制御の流れ、データの流れ 等
3	ハードウェアとソフトウェア③	3 プロセッサとメモリ ・プロセッサの仕組み ・半導体メモリの分類 ・代表的な記憶装置と記憶階層
4	ハードウェアとソフトウェア④	4 ソフトウェアの利用 ・システムソフトウェアの技術 ・ファイルシステム ・データのバックアップ 等
5	データベース①	5 データベースの構築 ・データベースとは? ・データベース設計
6	データベース②	6 データベース管理システム ・データベース管理システムの機能 ・データ操作 ・保全機能と障害回復機能
7	ネットワーク①	7 ネットワークの基本構成 ・ネットワークとは ・代表的な通信機器 ・代表的な通信ケーブル 等
8	ネットワーク②	8 インターネット技術 ・代表的な通信サービス ・代表的なインターネットサービス ・IPアドレスの仕組み
9	セキュリティ①	9 情報セキュリティの概要 ・情報セキュリティとは ・リスクマネジメントとは ・脅威の分類 等

回	テーマ	内容		
10	セキュリティ②	10情報セキュリティ対策 ・ 人的セキュリティ対策の具体例 ・ 技術的セキュリティ対策の具体例 ・ 物理的セキュリティ対策の具体例 等		
11	セキュリティ③	11暗号技術 ・ 暗号技術の必要性 ・ 共通鍵暗号方式 ・ 公開鍵暗号方式 等		
12	セキュリティ④	12認証技術 ・ 認証技術の必要性 ・ 利用者ID・パスワードによる認証 ・ デジタル署名 等		
13	情報システム①	13システムの構成 ・ 情報システムとは ・ 分散処理システム ・ Webシステム		
14	情報システム② 前期まとめ	14システムの評価指標 ・ 情報システムの性能を表す指標 ・ 情報システムの信頼性を表す指標 ・ 情報システムの経済性を表す指標 等		
15	前期期末試験	前期期末試験実施 前期期末試験解答・解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
I 「留学生のためのITリテラシー」 インフォテック・サーブ II 「情報活用試験3級公式テキスト」 実教出版		期末試験 確認テスト	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドキュメント制作演習 I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大津 美奈子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語でコンピュータを使用するための基本事項を身に付ける。 ・フォルダーやファイルの操作方法など、Windowsの基本操作を理解する。 ・パソコンを使用して、文書、表などのドキュメント作成上の基礎を身に付ける。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンでドキュメント作成上の基礎を身に付ける。 ・パソコンを使用してひらがな・カタカナ・漢字入力をスムーズに行えるようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<ul style="list-style-type: none"> ・業務を通してドキュメント作成上の基本操作やアプリケーションソフト操作のノウハウを蓄積。 ・Microsoft Office Specialist (Word/Excel/PowerPoint) 取得。 		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・ルビのない簡単な日本語の文章を普段から読むようにする。 ・濁音、撥音、促音を含む語彙を正確に発音するように注意する。 ・授業の予習・復習 ・課題の実施 				
回	テーマ	内 容		
1	授業概要説明 テキスト第1章の説明①	<ul style="list-style-type: none"> ・科目の学習内容と進め方の説明 ・パソコンの各名称、操作方法、画面表示の日本語 		
2	テキスト第1章の説明②	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードの名称と機能 ・ローマ字入力 		
3	テキスト第1章の説明③	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字変換、字数カウント ・USBメモリの使い方(保存、PCから安全に取り出す) 		
4	テキスト第2章の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル、フォルダーの作成と移動、表示変更 ・ファイルの拡張子 		
5	テキスト第3章の説明①	<ul style="list-style-type: none"> ・Word画面各部の名称 ・切替表示 		
6	テキスト第3章の説明②	<ul style="list-style-type: none"> ・Word基本(上書き保存、テンプレート、ショートカットキー、改行、検索・置換) 		
7	テキスト第3章の説明③	<ul style="list-style-type: none"> ・入力操作の基本(ショートカットキーとFキーを使って文字入力) ・文書をダウンロードして保存、メール添付で課題を送信 		
8	テキスト第3章の説明④	<ul style="list-style-type: none"> ・書式設定(文字、段落、コピー&クリア、箇条書き、段落番号、段組み、ヘッダー・フッター) 		
9	テキスト第3章の説明⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・書式設定演習問題 		
10	テキスト第3章の説明⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成(作成、操作、デザイン、Excelとの連携) 		
11	テキスト第3章の説明⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・表の作成演習問題 		
12	テキスト第3章の説明⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィック要素1(ワードアート、画像の挿入/配置/書式設定、スマートアート) 		
13	テキスト第3章の説明⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィック要素2(テキストボックス、図形の挿入/設定、図形の応用) 		
14	テキスト第3章の説明⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィック要素演習問題 		
15	テキスト第3章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・Word演習問題+まとめ 		

回	テーマ	内 容		
16	実務ドキュメント制作 (Word)	・ 社内お知らせ文書 ・ 表の作成・挿入のある文書		
17	テキスト第4章の説明①	・ Excelの基本		
18	テキスト第4章の説明②	・ セル操作の基本		
19	テキスト第4章の説明③	・ 表の作成と編集		
20	テキスト第4章の説明④	・ 表の作成と編集演習問題		
21	テキスト第4章の説明⑤	・ 数式と参照①		
22	テキスト第4章の説明⑥	・ 数式と参照②		
23	テキスト第4章の説明⑦	・ 数式と参照演習問題		
24	テキスト第4章の説明⑧	・ グラフ機能と素材の挿入①		
25	テキスト第4章の説明⑨	・ グラフ機能と素材の挿入②+演習問題		
26	テキスト第4章の説明⑩	・ 関数①		
27	テキスト第4章の説明⑪	・ 関数②		
28	テキスト第4章の説明⑫	・ 関数③+演習問題		
29	テキスト第4章のまとめ	・ Excel演習問題+まとめ		
30	実務ドキュメント制作 (Excel)	・ 実務ワークシート (請求書) ・ グラフの作成・挿入があるワークシート		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
「留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint入門」		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD演習 I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大津 美奈子
授業の概要				
①2DCADシステムの基礎を学び、基本操作を身に付ける。 ②電気・電気工事業界で活躍できるよう、エンジニアとして必要とされる知識を学習する。				
授業終了時の到達目標				
・2DCADシステムの基礎を理解し、一人で基本操作ができる。 ・建築分野の設計・製図の基礎を理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
・授業の予習・復習 ・課題の実施				
回	テーマ	内容		
1~2	授業概要説明 第1章 Jw_cadを使う準備をしよう①	・Jw_cadとは ・Jw_cadを使えるようにしよう ・Jw_cadを起動しよう ・Jw_cad画面の各部名称と役割を知ろう		
3~4	第1章 Jw_cadを使う準備をしよう②	・基本的な設定を変更しよう ・Jw_cadを終了しよう ・練習用ファイルをコピーしよう		
5~6	第2章 Jw_cadの基本操作①	・練習用ファイルを開こう ・一部を拡大表示しよう ・用紙全体を表示しよう		
7~8	第2章 Jw_cadの基本操作②	・線を描こう ・円を描こう		
9~10	第2章 Jw_cadの基本操作③	・線・円・文字を消そう ・操作前に戻そう		
11~12	第2章 Jw_cadの基本操作④	・線や円の一部を消そう ・図面を保存せずに終了しよう		
13~14	第2章 Jw_cadの基本操作⑤	・第2章まとめ		
15~16	第3章 家具の平面図作成①	・練習用ファイルを開いて印刷しよう ・線の太さと線色について知ろう ・これから作図する平面図について知ろう		
17~18	第3章 家具の平面図作成②	・縮尺と実寸法について知ろう ・横と縦の寸法を指定して長方形を描こう ・線を平行複写しよう		
19~20	第3章 家具の平面図作成③	・書込線色・線種を変更しよう ・指定の長さの水平・垂直線を描こう ・図形を複写しよう ・文字を記入しよう		
21~22	第3章 家具の平面図作成④	・水平方向の寸法を記入しよう ・垂直方向の寸法を記入しよう ・図面を上書き保存しよう		
23~24	第3章 家具の平面図作成⑤	・第3章まとめ		

回	テ ー マ	内 容		
25～ 26	第 4 章 ワンルームの間取り図作成①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作図する間取り図とおおまかな作業手順を知ろう ・ 用紙サイズと縮尺を設定しよう ・ 各線色の印刷線幅を設定しよう 		
27～ 28	第 4 章 ワンルームの間取り図作成②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁線を作図しよう ・ 指定距離の位置に仮点を配置しよう ・ ドアが入る部分の壁を消去しよう 		
29～ 30	前期まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期まとめ 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「できるゼロからはじめるJw_cad8 超入門」 インプレス 		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
電気工事概論 I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	松井 宏樹

授業の概要

以下の3つの目標を柱として授業を展開する

- ・第二種電気工事士の下期学科試験における資格取得を目指す
- ・将来的な電気工事の実務現場において円滑なコミュニケーションと業務を行うための振舞いを学習する
- ・電気設備技術基準に従った施工管理をするために必要な基本的知識を学ぶ

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し段階的評価を実施する

A段階 電気の基礎理論および必要な法令を習得し実践できる +B+C

B段階 電気工事士として必要な知識(図記号、工具、配線設計、複線図等)を身に着け、実践できる +C

C段階 電気の専門職に必要な基礎的知識を覚え、正しく使用、表現できる(テストにて到達度をはかる)

時間外に必要な学修

授業の復習

課題をこなし提出、もしくは自己採点を行う

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	自己紹介 授業展開について 評価について説明する 第二種電気工事士資格について説明する
2	電気の基本	電気の基礎知識、単位、よく使う単語の説明 電気工事士に必要な基本的な数学知識、物理知識を説明する
3	はじめの一步 I	電線の呼び名 電気工事の種類 接地工事 低圧受電の仕組み
4	はじめの一步 II	屋内配線の極性 短絡事故と地絡事故 過電流 電気回路の電源と負荷
5	第一章 配線図記号 I	配線図を理解する 配線の図記号 配線の一般図記号
6	配線図記号 II	引込口配線の機器と図記号 照明器具の図記号
7	配線図記号 III	コンセントの図記号 スイッチ(点滅器)の図記号
8	配線図記号 IV	電動機・電熱器配線の図記号 電気機器の図記号
9	第二章 器具・材料と工具 I	絶縁電線とケーブルの種類・用途 電線の接続 ケーブル工事とボックス
10	器具・材料と工具 II	埋込形スイッチボックスの工事 電線管の種類と加工用工事 合成樹脂管工事
11	器具・材料と工具 III	金属管工事 2種金属製可とう電線管工事 金属線ぴと金属ダクト工事
12	器具・材料と工具 IV	ネオン放電灯工事 フロアダクト工事
13	器具・材料と工具 V	その他の器具と工具 測定器
14	器具・材料と工具 VI	誘導電動機 照明機器の光源
15	器具・材料と工具 VII	蛍光灯点灯回路 電気機器の力率
16	器具・材料と工具 VIII	太陽電池発電設備 コードの種類と用途

17	第三章 配線設計と電気工事Ⅰ	電気設備技術基準の規定 配電方式と対地電圧 絶縁電線の許容電流
18	配線設計と電気工事Ⅱ	電線を保護する過電流遮断器 屋内幹線と分岐回路 屋内幹線の設計
19	配線設計と電気工事Ⅲ	分岐回路の設計 引込線・引込口配線 屋外配線の施設
20	配線設計と電気工事Ⅳ	施工場所と工事の種類 がいし引き工事 ケーブル工事
21	配線設計と電気工事Ⅴ	地中配線 合成樹脂管工事 金属管工事
22	配線設計と電気工事Ⅵ	金属可とう電線管工事 金属線び工事 金属ダクト工事
23	配線設計と電気工事Ⅶ	ライティングダクト工事 ショウウインドウ内工事
24	配線設計と電気工事Ⅷ	ネオン放電灯工事 小勢力回路
25	配線設計と電気工事Ⅸ	メタルラス壁貫通工事 低圧機器の設置工事
26	配線設計と電気工事Ⅹ	漏電遮断器の施設と省略 住宅の屋内電路の対地電圧制限
27	配線設計と電気工事Ⅺ	臨時配線 接触防護措置
28	本試験実力判定Ⅰ	第一章～第三章までの実力判断テストとその解説
29	第四章 検査方法Ⅰ	竣工検査の内容 絶縁抵抗の測定 接地抵抗の測定
30	検査方法Ⅱ	各種計器の種類と記号 各種計器の使い方
31	検査方法Ⅲ	検査方法のまとめ
32	第五章 法令Ⅰ	電気事業法 電気工事法
33	法令Ⅱ	電気用品安全法 電気工事業法
34	法令Ⅲ	法令のまとめ
35	第六章 電灯配線と複線図Ⅰ	電灯回路問題の予備知識
36	電灯配線と複線図Ⅱ	電灯配線を複線図にする
37	電灯配線と複線図Ⅲ	リングスリーブの種類と圧着マーク
38	本試験実力判定Ⅱ	第一章～第六章までの実力判断テストとその解説
39	第七章 電気の基礎理論Ⅰ	電気抵抗と抵抗率及び導電率 抵抗の接続と合成抵抗器 直流回路とブリッジ回路
40	電気の基礎理論Ⅱ	分流器と倍率器 電流の発熱作用と電力量 交流電圧
41	電気の基礎理論Ⅲ	交流回路の基本 交流回路の位相差 単相交流の直並列回路
42	電気の基礎理論Ⅳ	単相交流回路の電力と力率 三相交流回路 三相交流回路の電力と力率

43	電気の基礎理論Ⅴ	電圧降下と電力損失		
44	期末テスト	選択式・記述式		
45	期末テストの解説	期末テストで誤答が多いものを解説し、本試験の注意点について説明する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ぜんぶ絵で見て覚える第二種電気工事士学科試験すい〜っと合格 2024年版 私製教材・問題 他		課題評価 期末テスト	20% 80%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
電気工事技術演習 I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	松葉 真明

授業の概要

以下のことを柱として授業を展開する

- ・工具の使いかたをマスターし安全作業を行うことができる。
- ・第二種電気工事士技能試験の候補問題1～候補問題13までを実態写真を見ながら作ることができるようになる。
- ・オリエンテーション・基礎実習では、各種作業の基礎を習得し、候補問題実習では実際の国家試験に出題される回路を正しく組み立てることを目標とする。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標ごとに段階的評価をする

- A段階 候補問題が制限時間内(40分)までに完成する。+B+C
 B段階 候補問題が配線ミスなく完成する。+C
 C段階 候補問題の電工材料が正しい位置に付いている。

時間外に必要な学修および考え方

その日に学習した候補問題について単線図から複線図が書け、電線の色分けもできるように練習すること。

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	この科目の目的を説明する。工具の使用方法、各電工材料の説明
2	基礎実習1	ケーブル、電線の切断方法 線むぎの方法(ケーブルストリッパ) ランプレセプタクルへの電線の取り付け
3	基礎実習2	ランプレセプタクル、露出コンセントへの接続 引っ掛けシーリングへの接続 端子台 配線用遮断器への接続
4	基礎実習3	連用取付枠 スイッチ 埋め込みコンセント パイロットランプ の取り付け および リングスリーブ 差し込みコネクタによる結線方法
5	候補問題1	候補問題1について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
6	候補問題1	候補問題1について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
7	候補問題2	候補問題2について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
8	候補問題2	候補問題2について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
9	候補問題3	候補問題3について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
10	候補問題3	候補問題3について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
11	候補問題4	候補問題4について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
12	候補問題4	候補問題4について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
13	候補問題5	候補問題5について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
14	候補問題5	候補問題5について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
15	候補問題6	候補問題6について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
16	候補問題6	候補問題6について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
17	候補問題7	候補問題7について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
18	候補問題7	候補問題7について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
19	候補問題8	候補問題8について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
20	候補問題8	候補問題8について 実体写真を見ながら、作品を完成する。
21	候補問題9	候補問題9について 複線図の書き方の学習 必要な電工材料を選び出す 電線の切り方の学習
22	候補問題9	候補問題9について 実体写真を見ながら、作品を完成する。

回	テーマ	内 容		
23	候補問題10	候補問題10について 複線図の書き方の学習 必要な電気材料を選び出す 電線の切り方の学習		
24	候補問題10	候補問題10について 実体写真を見ながら、作品を完成する。		
25	候補問題11	候補問題11について 複線図の書き方の学習 必要な電気材料を選び出す 電線の切り方の学習		
26	候補問題11	候補問題11について 実体写真を見ながら、作品を完成する。		
27	候補問題12	候補問題12について 複線図の書き方の学習 必要な電気材料を選び出す 電線の切り方の学習		
28	候補問題12	候補問題12について 実体写真を見ながら、作品を完成する。		
29	候補問題13	候補問題13について 複線図の書き方の学習 必要な電気材料を選び出す 電線の切り方の学習		
30	候補問題13	候補問題13について 実体写真を見ながら、作品を完成する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
2024年版 ぜんぶ絵で見て覚える第2種電気工事士 技能試験すい〜っと合格		作業速度	20.0%	学則に則る
		作業の結果により到達目標に基づき 評価する	80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
応用日本語 I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/通年 (前期分)	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	75回 (前期分)	10単位(150時間) (前期分)	必須	大津 美奈子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに専門科目の授業を受講できるよう、語彙を中心にフォローをする。 ・奨学金申し込み条件である「JLPTN3レベル合格」を目指して、文字語彙、文法、聴解、読解問題への対策授業を行う。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN3合格 11名 ・JLPTN2合格 5名 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本語教育機関の進学コースで日本語の予備教育に従事。 初級から上級レベルの日本語、JLPT対策授業、EJU対策授業を担当。		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習・復習 ・課題の実施 				
回	テーマ	内容		
1~5	レベルチェックテスト第1回 授業の概要と進め方説明 文法・読解①/語彙・聴解①	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと①) ・読解 (パターン①-1) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと①) ・聴解 (パターン①-1) ・会話 		
6~10	文法・読解②/語彙・聴解②	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと②) ・読解 (パターン①-2) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと②) ・聴解 (パターン①-2) ・会話 		
11~15	文法・読解③/語彙・聴解③	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと③) ・読解 (パターン①-3) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと③) ・聴解 (パターン①-3) ・会話 		
16~20	文法・読解④/語彙・聴解④	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと④) ・読解 (パターン②-1) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと④) ・聴解 (パターン②-1) ・会話 		
21~25	文法・読解⑤/語彙・聴解⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑤) ・読解 (パターン②-2) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑤) ・聴解 (パターン②-2) ・会話 		
26~30	文法・読解⑥/語彙・聴解⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑥) ・読解 (パターン③-1) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑥) ・聴解 (パターン②-3) ・会話 		
31~35	文法・読解⑦/語彙・聴解⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑦) ・読解 (パターン③-2) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑦) ・聴解 (パターン③-1) ・会話 		
36~40	文法・読解⑧/語彙・聴解⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑧) ・読解 (パターン③-3) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑧) ・聴解 (パターン③-2) ・会話 		
41~45	レベルチェックテスト第2回 文法・読解⑨/語彙・聴解⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑧) ・読解 (パターン③-3) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑧) ・聴解 (パターン③-2) ・会話 		
46~50	レベルチェックテスト解答・解説 文法・読解⑩/語彙・聴解⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (演習問題①、パターン①-1) ・読解 (パターン④-1) ・語彙 (演習問題①、HW1回分ごと、漢字1ページごと①) ・聴解 (パターン④-1) ・会話 		
51~55	文法・読解⑪/語彙・聴解⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑨) ・読解 (パターン④-2) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑨) ・聴解 (パターン④-2) ・会話 		
56~60	文法・読解⑫/語彙・聴解⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑩) ・読解 (パターン④-3) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑩) ・聴解 (パターン④-3) ・会話 		
61~65	前期期末試験についての説明 文法・読解⑬/語彙・聴解⑬	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑩) ・読解 (パターン④-3) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑩) ・聴解 (パターン④-3) ・会話 		
66~70	前期期末試験解答・解説 文法・読解⑭-2/語彙・聴解⑭-2	<ul style="list-style-type: none"> ・文法 (1課ごと、HW1回分ごと⑩) ・読解 (パターン④-3) ・語彙 (1課ごと、HW1回分ごと、漢字1ページごと⑩) ・聴解 (パターン④-3) ・会話 		

回	テ ー マ	内 容		
71～ 75	前期期末試験実施	前期期末試験実施、解答・解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
N3 「はじめての日本語能力試験N3単語2000」 「日本語総まとめ問題集N3漢字」 「新完全マスターN3文法」 「ポイント&プラクティスN3読解」 「ポイント&プラクティスN3聴解」 N2 「はじめての日本語能力試験N2単語2500」 「日本語総まとめ問題集N2漢字」 「TRY！日本語能力試験N2文法から伸ばす日本語」 「必ずできるJLPTN2読解」 「ゼッタイ合格日本語能力試験N2聴解必修パターン」		期末試験 課題・確認テスト	50.0% 50.0%	
各レベル共通				
「日本語パワードリル」 文字・語彙、文法 「関係作りの日本語会話 雑談を学ぼう」				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシーⅡ		国際ITエンジニア学科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大津 美奈子

授業の概要

- ①インターネット活用、セキュリティ技術を基礎にコンピュータリテラシーを理解する。
 ②国内固有の法規(著作権・インターネット関連法等)を理解する。

授業終了時の到達目標

- ①PCを使用しての授業に向けて基礎的な用語の意味を把握している。
 ②iBut(インターネットユーザテスト)合格レベル程度の情報リテラシーを身に付けている。
 以上の目標がどの程度達成できたか、後期末に実施する期末試験と毎週実施する理解度確認テストの得点率によって、次のように評価する。A段階 80~100%、B段階 70~79%、C段階 60~69%

実務経験有無

実務経験内容

無

- ・業務を通してコンピュータリテラシーの知識と技能を蓄積
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催「ITパスポート試験」合格

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習
- ・課題の実施

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明 マルチメディア技術	1 マルチメディア技術 ・マルチメディアとは? ・データの圧縮と伸張 ・代表的なファイル形式 等
2	ヒューマンインタフェース技術	2 ヒューマンインタフェース技術 ・ヒューマンインタフェースとは? ・GUI ・ユニバーサルデザイン
3	システム開発技術	3 システム開発技術 ・システム開発プロセス ・代表的なソフトウェア見積り技法 ・代表的なソフトウェア開発モデル 等
4	データ構造とアルゴリズム	4 データ構造とアルゴリズム ・データ構造とは? ・アルゴリズムとは? ・基本アルゴリズム
5	プログラミング	5 プログラミング ・代表的なプログラム言語 ・プログラミングとテストとは? ・代表的なテスト技法
6	プロジェクトマネジメント	6 プロジェクトマネジメント ・プロジェクトマネジメントとは? ・プロジェクトマネジメントのプロセス ・代表的なスケジュール管理手法 等
7	サービスマネジメント	7 サービスマネジメント ・ITサービスマネジメントとは? ・サービスレベル管理 ・ITIL 等
8	システム監査	8 システム監査 ・監査業務とは? ・システム監査基準 ・内部統制とは? 等
9	企業活動と組織形態	9 企業活動と組織形態 ・企業活動とは? ・経営資源 ・経営管理 等

回	テーマ	内容		
10	業務把握と業務改善	10業務把握と業務改善 ・ 代表的な業務分析手法 ・ 代表的な意思決定手法 ・ 代表的な問題解決手法		
11	企業会計	11企業会計 ・ 企業会計とは？ ・ 財務会計 ・ 管理会計		
12	企業法務	12企業法務 ・ 知的財産の管理 ・ 情報セキュリティ関連法規 ・ 労働関連法規 等		
13	経営戦略マネジメント	13経営戦略マネジメント ・ 代表的な経営情報分析手法 ・ マーケティング戦略の立案 ・ 代表的な情報分析手法 等		
14	技術戦略マネジメント 後期まとめ	14技術戦略マネジメント ・ 技術開発戦略とは？ ・ 代表的なビジネスシステム ・ AI 等		
15	後期期末試験	後期期末試験実施 後期期末試験解答・解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
I 「留学生のためのITリテラシー」 インフォテック・サーブ II 「情報活用試験3級公式テキスト」 実教出版		期末試験 確認テスト	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドキュメント制作演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大津 美奈子
授業の概要				
・パソコンを使用して、スライドなどのドキュメント作成上の基礎を身に付ける。				
授業終了時の到達目標				
以下の到達目標を達成し、段階的評価を実施する。				
A段階 プレゼン資料としてのスライド作成、プレゼン発表の仕方共に、オーディエンスにとって分かりやすく、納得できる工夫や配慮が全体を通して随所に見られる。+B・C				
B段階 発表テーマや発表意図に即した適切な素材選びができ、オーディエンスに伝わりやすいプレゼン資料としてのスライドが作成できている。+C				
C段階 PPTの基本を身に付け、プレゼン資料としてのスライドの作成ができる。写真挿入、動画挿入、アニメーション効果の使用ができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を通してドキュメント作成上の基本操作やアプリケーションソフト操作のノウハウを蓄積。 ・Microsoft Office Specialist (Word/Excel/PowerPoint) 取得。 			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・ルビのない簡単な日本語の文章を普段から読むようにする。 ・濁音、撥音、促音を含む語彙を正確に発音するように注意する。 ・授業の予習・復習 ・課題の実施 				
回	テーマ	内容		
1	テキスト第5章の説明①	・PowerPointの基本①		
2	テキスト第5章の説明②	・PowerPointの基本②+演習問題		
3	テキスト第5章の説明③	・素材の利用①		
4	テキスト第5章の説明④	・素材の利用②		
5	テキスト第5章の説明⑤	・素材の利用演習問題		
6	テキスト第5章の説明⑥	・メディアの利用とアニメーション効果①		
7	テキスト第5章の説明⑦	・メディアの利用とアニメーション効果②		
8	テキスト第5章のまとめ	・メディアの利用とアニメーション効果演習問題 PowerPointまとめ		
9	実務ドキュメント制作 (PowerPoint) ①	・プレゼン資料作成①		
10	実務ドキュメント制作 (PowerPoint) ②	・プレゼン資料作成②		
11	実務ドキュメント制作 (PowerPoint) ③	・プレゼン資料作成③ (写真素材挿入)		
12	実務ドキュメント制作 (PowerPoint) ④	・プレゼン資料作成④ (動画素材挿入)		
13	実務ドキュメント制作 (PowerPoint) ⑤	・プレゼン資料作成⑤ (アニメーション効果使用)		
14	プレゼン発表会練習	・プレゼン発表練習		

回	テ ー マ	内 容		
15	プレゼン発表会	・プレゼン発表会		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	「留学生のためのかんたんWord／Excel／PowrPoint入門」	実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
CAD演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大津 美奈子

授業の概要

- ①2DCADシステムの基礎を学び、基本操作を身に付ける。
 ②電気・電気工事業界で活躍できるよう、エンジニアとして必要とされる知識を学習する。
 ③「建築CAD検定試験」3級合格レベルの技術と知識を身に付ける。

授業終了時の到達目標

以下の到達目標を達成し、段階的評価を実施する。
 A段階 「建築CAD検定試験」3級合格レベルの技術と知識が身に付いている。+B・C
 B段階 建築分野の設計・製図の基礎を理解し、基本操作ができる。+C
 C段階 2DCADシステムの基礎を理解し、一人で基本操作ができる。

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習
- ・課題の実施

回	テーマ	内容
1~2	授業概要説明 第5章 家具を配置しよう①	・家具を配置する大まかな手順を知ろう ・家具をひとまとまりに設定しよう
3~4	第5章 家具を配置しよう②	・家具を図形登録しよう ・家具を配置しよう ・家具と家具の間を測定しよう
5~6	建築CAD検定試験対策①	・4級過去問 2023年10月 A(柱・壁・間仕切壁) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(壁と窓)
7~8	建築CAD検定試験対策②	・4級過去問 2023年7月 A(柱・壁・間仕切壁) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(壁と窓)
9~10	建築CAD検定試験対策③	・4級過去問 2023年4月 A(柱・壁・間仕切壁) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(壁と窓)
11~12	建築CAD検定試験対策④	・4級過去問 2023年1月 A(柱・壁・間仕切壁) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(壁と窓)
13~14	建築CAD検定試験対策⑤	・4級過去問 2022年10月 A(柱・壁・間仕切壁) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(壁と窓)
15~16	建築CAD検定試験対策⑥	・3級過去問 2023年10月 A(階段平面図) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(柱・壁・間仕切壁) D(壁と窓)
17~18	建築CAD検定試験対策⑦	・3級過去問 2023年7月 A(階段平面図) B(通り芯・寸法・通り芯番号) C(柱・壁・間仕切壁) D(壁と窓)

回	テーマ	内容		
19～ 20	建築CAD検定試験対策⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級過去問 2023年4月 A (階段平面図) B (通り芯・寸法・通り芯番号) C (柱・壁・間仕切壁) D (壁と窓) 		
21～ 22	建築CAD検定試験対策⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級過去問 2023年1月 A (階段平面図) B (通り芯・寸法・通り芯番号) C (柱・壁・間仕切壁) D (壁と窓) 		
23～ 24	建築CAD検定試験対策⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級過去問 2022年10月 A (階段平面図) B (通り芯・寸法・通り芯番号) C (柱・壁・間仕切壁) D (壁と窓) 		
25～ 26	建築CAD検定試験対策⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級過去問 2022年7月 A (階段平面図) B (通り芯・寸法・通り芯番号) C (柱・壁・間仕切壁) D (壁と窓) 		
27～ 28	建築CAD検定試験対策⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級過去問 2022年4月 A (階段平面図) B (通り芯・寸法・通り芯番号) C (柱・壁・間仕切壁) D (壁と窓) 		
29～ 30	後期まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期まとめ 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「できるゼロからはじめるJw_cad 8 超入門」 インプレス ・ 「建築CAD検定試験」過去問題集 2024年度版 AACL 		実習・実技評価 課題評価	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
応用日本語 I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/通年 (後期分)	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回 (後期分)	8単位(120時間) (後期分)	必須	大津 美奈子

授業の概要

- ・スムーズに専門科目の授業を受講できるよう、語彙を中心にフォローをする。
- ・奨学金申し込み条件である「JLPTN3レベル合格」を目指して、文字語彙、文法、聴解、読解問題への対策授業を行う。

授業終了時の到達目標

- ・JLPTN3合格、JLPTN2合格 レベルの日本語能力を身に付ける。
- 以上の目標がどの程度達成できたか、各レベルの出題範囲、難易度に合わせた期末試験、課題、確認テストの得点率によって、次のように評価する。A段階 80~100%、B段階 70~79%、C段階 60~69%

実務経験有無

実務経験内容

有

日本語教育機関の進学コースで日本語の予備教育に従事。
初級から上級レベルの日本語、JLPT対策授業、EJU対策授業を担当。

時間外に必要な学修

- ・授業の予習・復習
- ・課題の実施

回	テーマ	内 容
1~4	授業の概要と進め方説明 レベルチェックテスト第3回 対策①(文字・語彙、読解)	・レベルチェックテスト実施 ・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習)
5~8	対策② (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
9~12	対策③ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
13~16	対策④ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
17~20	対策⑤ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
21~24	対策⑥ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
25~28	対策⑦ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
29~32	対策⑧ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
33~36	レベルチェックテスト第4回 対策⑨(文字・語彙、読解)	・レベルチェックテスト実施 ・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習)
37~40	対策⑩ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
41~44	対策⑪ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
45~48	対策⑫ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話
49~52	後期末試験についての説明 対策⑬ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	・文字・語彙(2ページごと/1 sectionごと/HW1回ごと) ・読解(1pointごと+HW演習) ・文法(4~6文型ごと/HW1回) ・聴解(1スキルごと) ・会話

回	テ ー マ	内 容		
53～ 56	対策⑭ (文字・語彙、読解、文法、聴解)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字・語彙 (2ページごと/1 sectionごと/HW 1 回ごと) ・ 読解 (1pointごと+HW演習) ・ 文法 (4～6文型ごと/HW1回) ・ 聴解 (1スキルごと) ・ 会話 		
57～ 60	後期期末試験実施	後期期末試験実施、解答・解説		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
N3	「はじめての日本語能力試験N3単語2000」 「日本語総まとめ問題集N3漢字」 「新完全マスターN3漢字」 「新完全マスターN3文法」 「新完全マスターN3読解」	期末試験 課題・確認テスト	50.0% 50.0%	
N2	「はじめての日本語能力試験N2単語2500」 「日本語総まとめ問題集N2漢字」 「TRY！日本語能力試験N2文法から伸ばす日本語」 「必ずできるJLPTN2読解」 「新完全マスターN2読解」 「スピードマスターN2漢字」 「スピードマスターN2文法」 「新完全マスターN2聴解」			
	各レベル共通			
	「日本語パワードリル」 文字・語彙、文法 「関係作りの日本語会話 雑談を学ぼう」			

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン I		国際ITエンジニア学科/1年	2024/後期	演習
授業時間	総回数	単位数 (時間数)	必須・選択	授業担当者
90分	15回	2単位 (30時間)	必須	大津 美奈子

授業の概要

- ・専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。
- ・日本で働くために必要なルールを知り、ビジネスマナーを身につける。

授業終了時の到達目標

- ①自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて日本語で表現することが出来る。
- ②日本での就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る。
- ③日本で働く上での心構えや行動、身だしなみ、考え方、受け取り方、話し方、聞き取り方など幅広い決まり事を身に付ける。

以上の目標がどの程度達成できたか、後期末に実施する期末試験と提出を課した課題について、得点率によって次のように評価する。A段階 80～100%、B段階 70～79%、C段階 60～69%

実務経験有

実務経験内容

有

日本語教育機関で学生の進路指導を担当。また教職員採用や労務管理に従事した経験を有す。

時間外に必要な学修

- ・「物の見方」「考え方」「行動の仕方」を意識的に前向きにして「気付くこと」を習慣化する。
- ・学校やアルバイト先など日本人とのコミュニケーションの中で、学んだことを意識し実践してみる。

回数	テーマ	内容
1	授業の概要と進め方 履歴書を完成する	・志望動機作成のポイントを解説(#27) ・志望動機作成の注意点 ・志望動機を作成する 動画教材17
2	面接のポイントを理解する①	・面接の基本(#28) ・面接試験のマナー ・身だしなみマナー 動画教材18
3	面接のポイントを理解する②	・基本的な敬語表現 ・面接試験で聞かれる質問例 内定を勝ち取るための「30問30答」
4	面接のポイントを理解する③	・面接の準備をする(話す内容を日本語で考える)
5	面接のポイントを理解する④	・模擬面接で話す練習をする
6	ビジネスコミュニケーション①	・日本人と働く心がまえ ・上司・先輩とのつきあい方 ・同僚とのつきあい方
7	ビジネスコミュニケーション②	・就業時間外のつきあい方 ・身だしなみ ・チームワーク
8	ビジネスコミュニケーション③	・配慮のある話し方 ・話の進め方

9	ビジネスのルール①	<ul style="list-style-type: none"> ・時間厳守 ・就業時間 ・テレワーク 		
10	ビジネスのルール②	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・お辞儀 ・報告・連絡・相談 		
11	ビジネスのルール③	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理 ・ハラスメント 		
12	社内のマナー①	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞くとき ・指示を受けるとき ・注意を受けたとき 		
13	社内のマナー②	<ul style="list-style-type: none"> ・退社時のマナー ・慶弔のマナー ・贈答のマナー 		
14	社内のマナー③	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナー ・お酒の席のマナー 		
15	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末試験の実施 ・後期期末試験解答・解説 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・「熱血！森吉弘の就活ゼミ教材」 ・「改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール」 日本能率協会マネジメントセンター & SPI」実教出版 		<ul style="list-style-type: none"> 課題評価 期末試験 	<ul style="list-style-type: none"> 40.0% 60.0% 	